

## ママライフ in 名古屋

第3期 OG 今野 祐子  
(旧姓 舟木)

お久しぶりです。皆様いかがお過ごしでしたか。

私は、昨年5月に2年間の育休を経て、勤めていた外資系メーカーを退社し、専業主婦ママをしています。育休中に夫が名古屋に転勤になり、4～5年は戻れないという状況の中、なによりも家族全員一緒にいたい、と名古屋についていったのがきっかけでした。

子供ができるまでは、出産してからも仕事して自分の収入を確保したい、そのほうがリスクヘッジだろうし、バリバリのワーキングママってカッコいいと憧れていたのですが、子育てをすればするほど育児が楽しくなって、迷いが出てきてしまいました。『子供がこんなに求めてくれているうちは、全部自分で育てたい』という気持ちと、でも仕事をやめていいのだろうか、という気持ちの狭間にいましたが、名古屋に住むことになって、物理的に勤務が難しくなり、夫も激務になり、それならば育児に専念しようと決めました。同期や、育休から復帰した友人を見ると、少し取り残されたような気持ちになることもなくはないのですが、ガッツリ育児して家事して家計のやりくりして…という生活も、また違う充実感と満足感があります。子供にあわせて早寝・早起き、運動、規則正しい食事、飲み会激減、ストレスも減と、かなり健康体にもなりました。

育児に専念したいと思えたのも、名古屋でたくさんのママ友との絆ができたということが大きいです。名古屋では知り合いゼロからのスタートでしたが、子供つながりで様々な友人ができました。独身時代には友人といえばほぼ同年代ばかりでしたが、ママ友は年上も年下もいろいろ。一回り上のアラフォーママや、年上の塾員のママとも、仲良くなって何でもタメ語で話せるようになったのは、とても嬉しいことです。育児は楽しいこと、面白いことが沢山ありますが、自分のペースで出来ることは激減するし、体力的にも精神的にも正直きついなーと思うこともたびたびあります。人を育て上げるのは一筋縄ではいかないのだなと、育ててみて初めてわかったような気がします。ですが、助けあい励ましあえるママ仲間がいて、みんなで子育てすることで、どれだけ気持ちが楽に、育児が楽しくなることか。ありがたく思っています。

ただ、ママという共通点以外はバックグラウンドも様々なので、今まで学生時代や社会人時代に出会ったことのないような、価値観が全く違う人もいたりします。ドラマの中だけでなく、本当にモンスターペアレントはいるものだと思ったことも…。複数のコミュニティに人間関係を構築しておくこと、その上で

気の合う人、信頼できる人とは少しずつ距離を縮めていく、ちょっと危険な香りのする人とは少しずつ距離を置き、当たらず触らずでいくのが、ママ友ワールドでうまくやっていくコツではないかなと思ったりもしています。

今は、ママ仲間と、子供のリトミックや、子連れでママ達ができるヨガやフラダンスの講座などを運営するスタッフとして活動したりもしています。自分も子供と一緒に参加して楽しめるし、地域のママ達の育児やリフレッシュにも微力ながら貢献できているのではないかなと思っています。

そんな名古屋生活も、もう3年目に入りました。家賃も東京と比べるとリーズナブルなので広くて利便性の高いところに住めるし、人も多すぎず、都会すぎず田舎すぎず、少し行けば山も海もあり、子育てするには本当にいい環境です。居心地が良くなってしまい、このままもう少しこっちにいたいと思うほどです。来年の今頃はまだ名古屋にいるのか、東京に戻っているかはわかりませんが、名古屋での限りある生活を楽しみたいと思っています。



家族で過ごす2011年のクリスマス。娘は2才7ヶ月になりました。